

# 「発達障害」について

第5回発達を見守る会

2016年2月18日

遠藤尚宏

# 本日の内容

気になる発達・行動

発達障害の定義

その種類

その対応

事例紹介

まとめ

# 本日のポイント

発達障害は先天性、ただし環境による影響も大きい

気になる発達・行動に注目、対応しよう

気になる行動への対応はすべての子に使える！

その子が持つ”ストーリー”に着目しよう

## 気になる発達・行動 0～2歳

視線が合いづらい

あやしづらい / 夜泣きがひどい

手がかからない / 親がみえなくても平気

指さししない / 指さしに反応しない

言葉の遅れ / オウム返し / 抑揚のなさ

極端な人見知り / 人見知りがない

呼び名に返事しない / 他児に興味ない

## 気になる発達・行動 3~6歳

会話が苦手（言葉の遅れ、理解がよくない、話がかみあわない、言葉遣いの独特さ）

集団行動が困難（嫌がる、一人で平気） / 過剰適応  
強いこだわり

痛み、視覚・聴覚・味覚などへの過敏さ・鈍感さ

基本的な生活習慣（更衣・排泄など）獲得の遅れ

極端な不器用さ/運動の苦手さ

発達障害とは：発達障害者支援法第二条より

この法律において「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものをいう。

## 発達障害とは：DSM-5より

典型的には発達早期，しばしば小学校入学前に現れ，個人的・社会的・学業あるいは職業的な機能を損なう発達的な欠陥により特徴づけられるものである。発達的な障害の幅は，学習や実行機能の非常に特殊な制限から社会的スキルや知能の全体的な欠陥まで幅がある。(p. 31)

# DSM-5に基づく（神経）発達障害の種類

自閉症スペクトラム障害

コミュニケーション障害

ADHD

知的障害

学習障害

運動障害

チック障害

# 自閉症スペクトラム 特徴

1. コミュニケーションの苦手さ
2. 固定的・反復的な行動・関心（感覚過敏・鈍麻を含む）

上記に基づく社会生活での困難

認知面の特徴（外界からの情報の受け止め方の独特さ、情報の解釈の仕方の独特さ、表現の仕方の独特さ）

感覚面の特徴（感覚刺激に対する過敏性・鈍感さ）

## 自閉症スペクトラム 特徴 2

(見て) 気づく・納得する・覚えるのが得意

パターンの記憶や論理的な思考になじみやすい

見通しが持てれば実力を出しやすい

まじめで秩序を愛する

好きなことには高い集中力や知識欲を発揮する

自分の目標達成のためなら努力を惜しまない

# 子どもによって得意なコミュニケーションの取り方は違って当然（多様性支援・才能支援）

・パターン思考（音楽・算数が得意、読字難）、

視覚思考（算数が苦手）、言語思考（絵や図形が苦手）

6.17 ON AIR Temple Grandin テンプル・グランディン

「世の中にはいろんなタイプの脳が必要だ」NHKスーパープレゼンテーションより

<http://www.nhk.or.jp/superpresentation/backnumber/150617.html>

\* 2e (twice exceptional) : 知的に恵まれた才能を持つが、同時に障害と呼ばれてしまうレベルの困難さも持つ子ども（人）

・ Multiple Intelligence : 言葉、数、絵、音楽、身体、対人、自己、自然

# 自閉症スペクトラム 経過

末は博士？芸術家？賞をとったりする子も多い

落ち着きはでてきやすい

10歳過ぎから他者の考えを読めるようになってくる子もいる

二次障害を発症する場合もある：うつ、強迫性、神経症、統合失調症様、人格障害

社会に出てから不適應状態になる（初めて診断がつく）人もいる

家族内集積性あり

# 6歳代IQ

合計

85以下

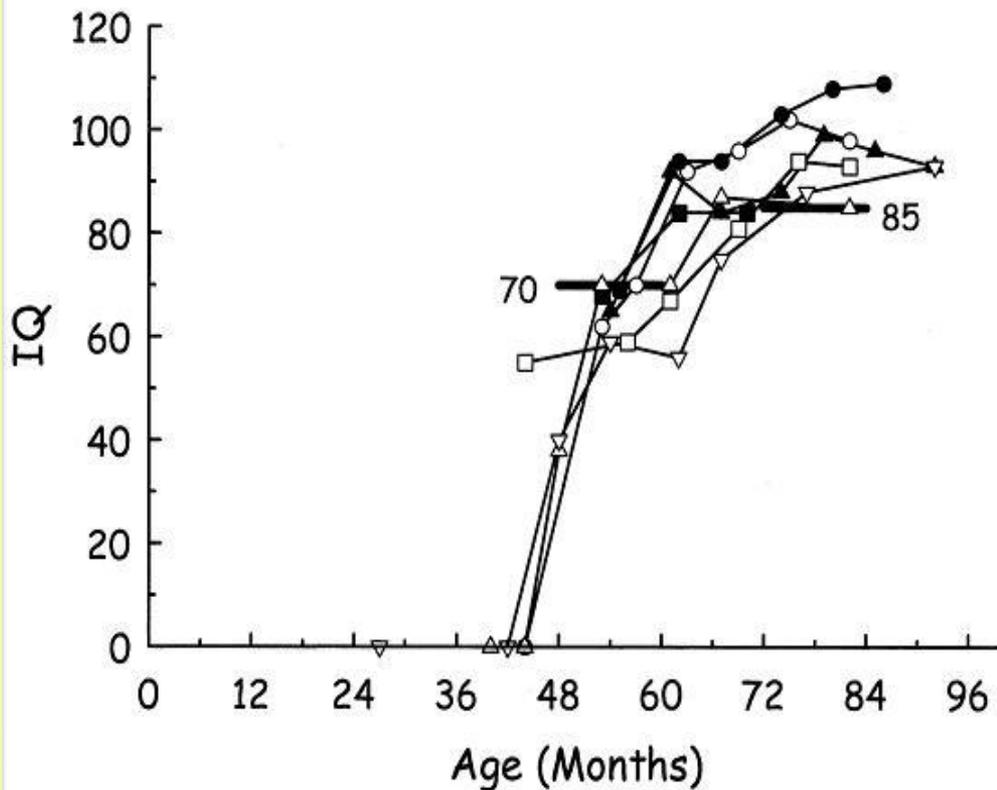
86以上

4歳代IQ 70以下 知的障害1群(N=14) 発達改善群(N=7) 21

71以上 知的障害2群(N=1) 高機能群(N=12) 13

合計 15 19 34

# 発達改善群



自閉症児知能の継次的変化に関する研究 氏家武ら

# ASD 就学までの時系列

**0歳～** 何をおいてもまず愛着。但し、ASDのある子は親にとっても愛着をもちづらい

**1歳～** 気になる行動が目立ったり、診断がつく時期。親の今までの苦労を労う。

**3~6歳** 急に伸びる子もいる時期。

**年長** どういった形で小学校に入るか、最もよい形で就学するにはどんなことができたらいいか、そのためには何をしていくのか、親や園、児童デイと話し合う。

**年長の秋ごろ** 就学の仕方が検討される

**就学** 引継ぎを念入りに。就学へのイメージを皆にもってもらう。

# 注意欠陥性・多動性障害(ADHD)

7歳男児 小学1年生 乳幼児健診では特に指摘なし。

非常に人懐っこく、好奇心旺盛。

1歳半から保育園。非常に元気で、目立とうと騒いだり、

けんかすることもあるが、理解力や観察眼はよい。

小学校入学後より、落ち着きのなさが目立つ。授業中に離席しかけたり、ぼーっとしていることがある。他の子が本児の真似をして、担任が困っている。友達はあるが、けんかも多く、手がでやすいため、敬遠されることもあるよう。成績は悪くないが、ひらがなが鏡文字になったりする。また、家では宿題を自主的にはできず、声掛けや見守りが必要。

# ADHD 特徴

1. 落ち着きのなさ・衝動性の高さ
2. 不注意、集中力が続かない

上記のいずれか、あるいは両方が二つ以上の場面であり、その結果、社会生活に支障をきたしている

知的発達 は年齢相応

## ADHD 特徴その2

活発

明るい・盛り上げ役

熱心

チャレンジ精神旺盛

マイペース・自分の間を持っている

## ADHD 特徴 その3 脳の機能の問題

実行機能障害：抑制できない、意図したことを柔軟かつ計画的に考えて、行動に移すことができない

実行機能＝抑制機能 ・ 作動記憶（ワーキングメモリ） ・ 文脈依存記憶 ・ 流暢性 ・ 計画立案（プランニング） ・ 認知シフティング（柔軟な切り替え）

報酬系の障害：報酬の遅延に耐えられずに衝動的に代わりの報酬を選択する、報酬を得るまで、注意をほかのものにそらす、気を紛らわす

# ADHD 治療

American Academy of Pediatrics Clinical Guidelineより

6歳まで:親や先生による行動療法 (+薬物療法)

6歳から:薬物療法 + 行動療法 (12歳以上はまず薬物療法)

- 薬物療法はADHDでは基本的によく効く。
- しかし、環境に問題がある場合は、本人を「我慢させるため」の薬として、どんどん量が増えていく場合もある→副作用の懸念
- ASD合併例では効果は半減。こだわりや感覚過敏が目立って見える場合も ←想像力、感覚面の観察が重要！
- 「薬飲ませたらどうですか」「病院に行って薬もらってきて」は禁句！

## ADHD 経過

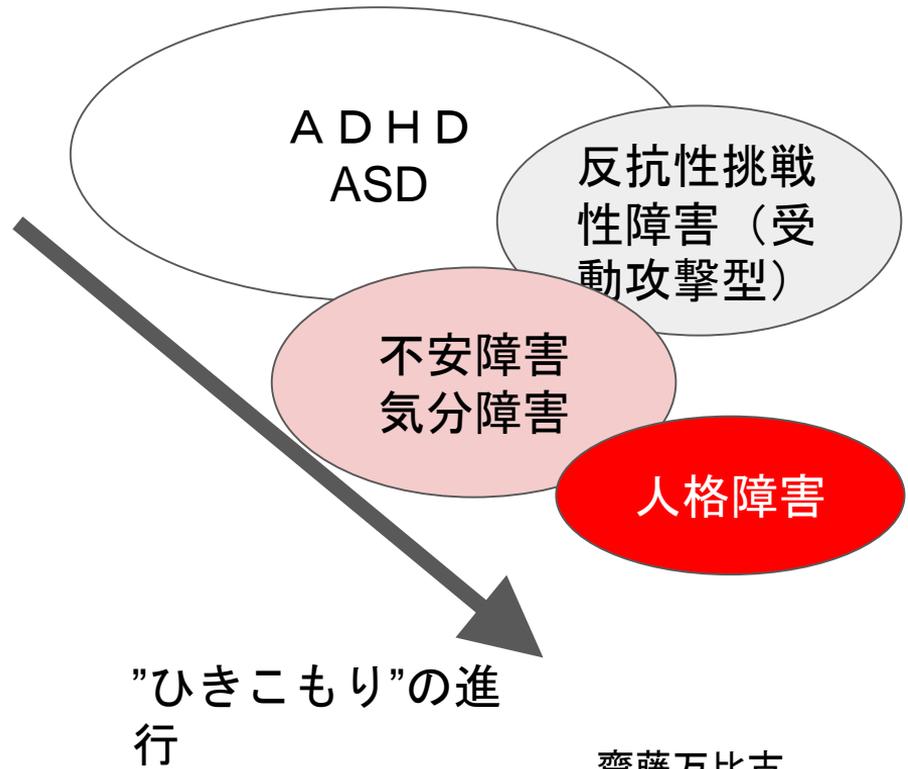
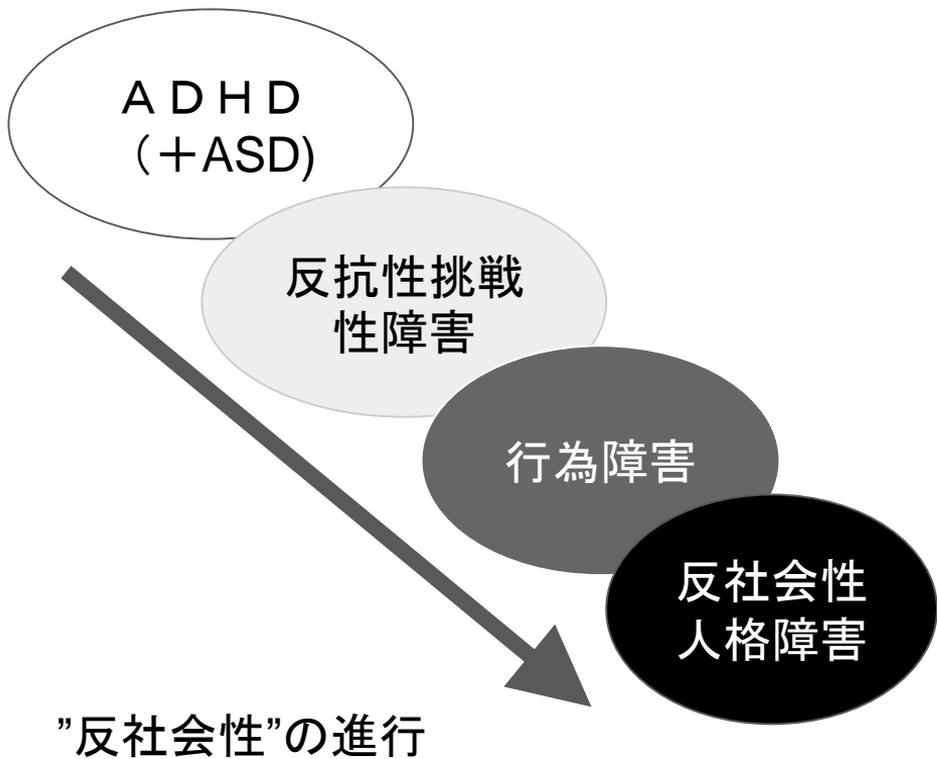
2~3割はADHDの症状が残る、特に不注意。  
適切な対応、治療により将来性は大きく改善する、しかし、もともとADHDのなかった人のレベルまでは改善しない。

低い学歴、低い社会的経済的地位、高い離婚率、  
高い服役率、不安障害、反社会的な人格障害、  
薬物依存、精神科的入院

ADHD児の62%（非ADHD児19%）が一つ以上の  
精神障害を11-16歳で併発

(Yoshimatsu et al., 2012)

# ADHDは頭を押さえつけない！放置しない！



齋藤万比古  
(2000)  
一部改

# コミュニケーション障害

Language disorder

（言語障害）

Speech sound disorder

（音韻障害）

Childhood onset fluency  
disorder (stuttering)

（吃音症）

Social (pragmatic)  
communication disorder

（社会的（語用的）コミュニ  
ケーション障害）

Communication Disorders not  
otherwise specified （特定不  
能のコミュニケーション障害）

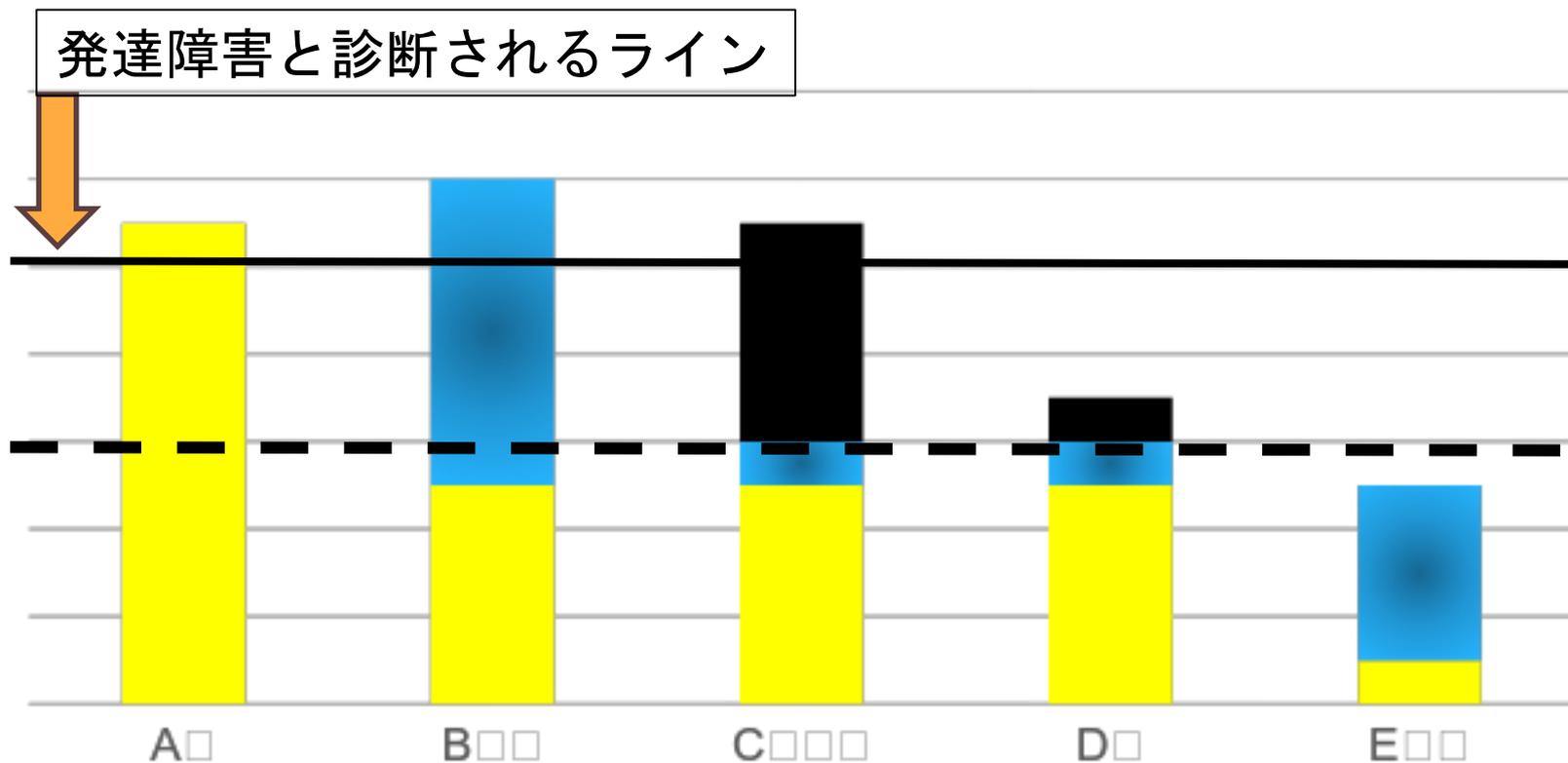
# 知的障害、学習障害、運動障害

**知的障害**：臨床的アセスメントと標準化された知能検査の個別検査で確認される、推理・問題解決・計画・抽象的思考・判断・学校の学習・経験からの学習といった知的機能の障害。（おおむねIQ70以下）

**学習障害**：限局性学習症/限局性学習障害。読み・書き・計算という領域を示す識別語を付加する。

**運動障害**：発達性協調運動症/発達性協調運動障害 および 常同運動症/常同運動障害

# 「発達障害」の原因は一つではないかもしれない



# 対応 1

- 本人の発達段階にあった関わり
- 気が散るものをとりのぞき、  
集中しやすい環境をつくる
- 絵や図、ジェスチャーなどを  
用いた指示・コミュニケーション
- 見通しを立ててあげる
- ルール（約束事）は習慣として  
定着するように工夫・継続

## 対応2

- 本人の得意なことを伸ばす
- 本人の興味のあることを  
からめながらコミュニケーションを伸ばす
- 構造化された環境設定
- 気になる行動を感覚面から  
見直してみる

子どもをこちらのシステムにはめこ  
もうとしない！  
本人なりの役割・目標を！

気になる行動への

対応はすべての子に

使える！

例) ユニバーサル

デザインの授業・クラス

# 気になる行動への対応はすべての人に使える！

例：Toyota Production System (TPS),  
Lean 5 S

整理 (Sort)

整頓 (Set in order)

清掃 (Shine)

清潔 (Standardize)

しつけ (Sustain)



# 本日のまとめ

発達障害は先天性、ただし環境による影響も大きい

気になる発達・行動に注目、子どもの考え・感覚  
に沿って対応しよう

気になる行動への対応はすべての子に使える！

その子が持つ”ストーリー”に着目しよう